

農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)
土地改良事業変更計画書

ひがしたかむろ
東高室地区

第 1 章 目 的	1	1. 道路概況	11
第 2 章 地域及び地積	2	2. 主要道路一覧表	(該当なし)
第 1 節 地 域	2	第 5 節 地域農業の概況	13
第 2 節 地 積	2	1. 産業別就業人口	13
第 3 章 現 況	3	2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数	13
第 1 節 気象及び海象	3	3. 動力農機具及び主要家畜頭数	13
1. 一般気象	3	4. 主要作物作付状況	14
2. 特殊気象	3	5. 農業の動向	14
3. 海 象	3	第 6 節 地域環境の概況	15
第 2 節 土地状況	4	第 4 章 一般計画	16
1. 地形、土壤及び浸食の程度	4	第 1 節 事業計画の要旨	16
2. 土地分類	4	1. 要 旨	16
3. 土地利用の状況	5	2. 事業別面積	16
4. 土地所有の状況	5	第 2 節 営農計画及び土地利用計画	17
第 3 節 水利状況	6	1. 営農計画の概要	17
1. 用水状況	6	2. 土地利用区分	17
2. 排水状況	9	3. 作付方式	18
3. 河川状況	(該当なし)	4. 生産計画	19
第 4 節 道路現況	11		

5. 労働改善計画	19	1. 農用地造成計画	(該当なし)
6. 級地別土地利用区分	19	2. 土壤改良	(該当なし)
7. 土地配分計画	19	第 7 節 洪水調節計画	33
第 3 節 用水計画	20	1. 計画基準雨量	(該当なし)
1. 計画基準年	20	2. 計画洪水量及び調節量	(該当なし)
2. 計画かんがい方式	20	3. 貯水池	(該当なし)
3. 計画用水系統	20	4. 洪水調節検討	(該当なし)
4. 計画用水量	22	5. 管理計画	(該当なし)
5. 水源計画	23	第 8 節 干拓計画	33
第 4 節 排水計画	26	第 9 節 農用地整備計画	34
1. 計画基準雨量	26	1. 区画整理	34
2. 計画排水方式	26	2. 暗渠排水	35
3. 計画排水系統	26	3. 客土	35
4. 計画排水量	28	4. 農地保全	35
5. 排水対策	28	第 10 節 老朽ため池改修計画	35
6. 湛水検討	30	1. 洪水吐改修計画	(該当なし)
第 5 節 道路計画	31	2. 堤体補強計画	(該当なし)
1. 道路及び索道	31	3. 取水施設改修計画	(該当なし)
2. 路線配置図	31	第 5 章 主要工事計画	36
第 6 節 農用地造成計画	33	第 1 節 用水施設	36

1. 貯水池	36	1. 堤防	(該当なし)
2. 頭首工	36	2. 潮止め	(該当なし)
3. 揚水機	36	3. 付属施設	(該当なし)
4. 用水路	37	4. 埋立	(該当なし)
5. その他かんがい施設	38	第 7 節 農用地整備施設	44
第 2 節 排水施設	39	1. 区画整理	44
1. 排水水門	39	2. 暗渠排水	44
2. 排水機	39	3. 客土	45
3. 排水路	40	4. 除礫	45
4. その他排水施設	41	5. 農地保全	45
第 3 節 道路及び索道	42	第 8 節 老朽ため池改修施設	45
1. 道路	42	1. 貯水池	(該当なし)
2. 索道	43	2. 堤体補強施設	(該当なし)
第 4 節 農用地造成	43	第 6 章 附帯工事計画	46
1. 農用地造成	(該当なし)	第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期	46
2. 土壤改良	(該当なし)	第 8 章 環境との調和への配慮	47
第 5 節 洪水調節施設	43	第 9 章 換地計画の概要	48
1. 貯水池	(該当なし)	第 1 節 換地計画を作成する上で 基本的な考え方	48
2. 頭首工及び導水施設	(該当なし)	第 2 節 換地区の設定	48
第 6 節 干拓施設	43		

1. 換地区的名称、所在、面積 ······	48	参考資料
2. 換地区を設定する理由 ······	48	面積増減図
第 3 節 换地計画樹立の基本方針 ······	48	道路延長増減図
1. 従前の土地の地積の基準 ······	48	用水路延長増減図
2. 用途別予定地積 ······	49	排水路延長増減図
3. 農用地集団化の方針 ······	49	非農用地面積増減図
4. 非農用地の換地の方法 ······	50	
第 4 節 土地の評価及び清算の方法 ······	51	
1. 評価の方法 ······	51	
2. 清算の方法 ······	51	
第 5 節 换地計画樹立の年度計画 ······	51	
第 6 節 换地処分の時期に関する特則 ······	51	
第 10 章 事業費の総額及び内訳 ······	53	
第 11 章 効用 ······	54	
第 12 章 関連する事業 ······	54	
第 13 章 現況・計画図面 ······	54	
1. 現況平面図 ······	54	
2. 計画平面図及び土地利用計画図 ······	54	
3. 主要構造図 ······	54	

第 1 章　目的

加西市は兵庫県南部、播磨平野のほぼ中央に位置し、市域面積は150.22km²で、中国自動車道が通過し、大阪等の大都市へアクセスのよい場所である。気候は瀬戸内海式気候に属しており、晴れの日が多く1年を通して温暖なことが特徴である。瀬戸内海を囲む中国・四国の山地が夏冬の季節風をさえぎるため、1年を通して雨が少ない気候である。

加西市の農業の現況は、耕地面積規模が0.5ha未満の、小規模な個人経営による兼業農家が大半を占めている。農業経営者の高齢化が進む中、農業後継者不足、耕作放棄地の増加など、遊休化が進行している。一方、都市近郊に位置する立地条件の良さは、高付加価値型農業の推進や、都市住民との交流事業を行うにあたっての利点となる。

のことから、農業経営の安定、効率化を推進するとともに、販路の拡大等を図り、農業を持続可能で魅力ある産業とし、新たな農業経営の担い手を確保、育成する。都市近郊に位置する加西市の特性を生かし、野菜や園芸作物の生産など高付加価値型農業を推進する。また、都市と農業集落の交流や食育等において、農地、農業集落を多目的に活用し、遊休農地の解消、農業集落の活性化を図る。さらに優良農地の保全、集積的確保を推進する。増大している食への不安を解消するため、食と農を通じて生産者と消費者の密接な関係を構築するとともに、地域の農産物への理解を深め、一層の地産地消を推進する。

よって、この様な状況に対応する為、東高室地区に対しほ場整備及び導水路を計画し、田畠輪換営農体系に適したな汎用耕地化を図り、水稻-野菜の輪換作業体系を確立し、より収益性の高い作物での営農を可能とともに、農用地の集団化を図り中型機械の導入により労働力を抑制し、労働力の軽減(特に女性)を図る事、また、環境に配慮することにより自然との共生を目的として当農地整備事業を樹立したものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)	加西市北条町東高室

第2節 地積

(令和7年3月現在)

(第2表)

事業名	現況地目 市町村名	種目	田	畠	原野	山林	その他	計	備考
			(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)	加西市	区画整理	15.2	1.0	0.5	-	1.3	18.0	

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	西脇	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	S51年～H29年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (°C)		- °C	- °C	- °C	
降水量	平均 (mm)	866.0 mm	579.0 mm	1,445.0 mm	
	基準年 (mm)	- mm	- mm	-	該当年なし
降水日数	平均 (日)	52 日	52 日	104 日	
	基準年 (日)	- 日	- 日	-	該当年なし
根雪期間		該当なし			
無霜期間	一 年 一 日	～	一 年 一 日		
最多風向	-	最大風速 (風向)		-	発生時期 -月～-月 発生年月日

出典:気象庁HP

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名		第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
西脇測候所		数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間	S51年～H29年																
最大日雨量	(mm)	224.0	H27.7.17	-	182.0	H23.9.20	-	167.0	S58.9.28	-	158.0	H8.8.28	-	145.0	H16.10.20	-	
最大時間雨量	(mm)	64.0	S58.9.28	-	61.5	H26.8.24	-	59.0	H29.9.17	-	57.0	H8.8.28	-	56.0	S51.9.13	-	
最大4時間雨量	(mm)	109.0	H12.10.9	-	109.0	S58.9.28	-	102.0	H29.9.17	-	97.0	H25.9.2	-	94.0	S62.10.17	-	
最大連続雨量	(mm)	256.0	H23.9.21	-	236.0	S58.9.29	-	232.5	H27.7.18	-	229.0	H8.8.29	-	195.5	H23.9.5	-	
最大連続干天日数	(日)	40	S61.1.5 S61.2.13	-	30	H9.10.6 H9.11.4	-	27	S63.1.22 S63.2.17	-	27	H11.12.10 H12.1.5	-	26	S61.7.23 S61.8.17	-	

出典:気象庁HP

3. 海象

該当なし

第2節 土地状況

1. 地形、土壤及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畠・その他						受益地標高(m)		備考	
		1/1,000 以下	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8° ～15°	15° ～20°	20° 以上	計	最高	最低		
農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)	面積(ha)	-	12.0	3.2		-	15.2	-	1.0	-	-	-	-	1.0	65	59	平均傾斜 1/119
	比率(%)	-	78.9	21.1	0	-	100	-	-	-	-	-	-	0	-	-	

(第4表-1-2)

項目 土壤統(区)名	土壤統(区)区分一覧表										面積(ha)		備考 (備土壤番号)			
	土壤断面										堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性			泥炭層 黒泥層 及びグライ層					農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)			
					表土	下層土										
	一層	二層	三層												E40	
グライ土壤 強粘土構造型	2.5Y5/2	あり	なし	5～40%	LiC	LiC		あり							F50	
灰色土壤 粘土構造型	2.5Y5/3	2%未満	なし	0～5%	CL	CL		なし							D31	
強グライ土壤 強粘土斑鉄型	7.5Y4/1	なし	なし	5～40%	LiC	HC		あり							0.0	

2. 土地分類

該当なし

3. 土地利用の状況

(令和2年3月現在) (第4表-3)

事業名 市町村名	土地利用別	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)	加西市	15.2	1.0								1.8	18.0		

4. 土地所有の状況

(令和2年3月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人所有	国有	県有	市有	その他	計	備考
	面積(ha)	17.5			0.5		18.0	
農山漁村地域整備交付金 (農業基盤整備促進事業)	受益者数(人)	33					33	
	筆数(筆)	263					263	
	権利関係	所有権・耕作権			所有権			
	備考 (関係受益者数)	(33戸)					(33戸)	

第3節 水利状況

1. 用水状況

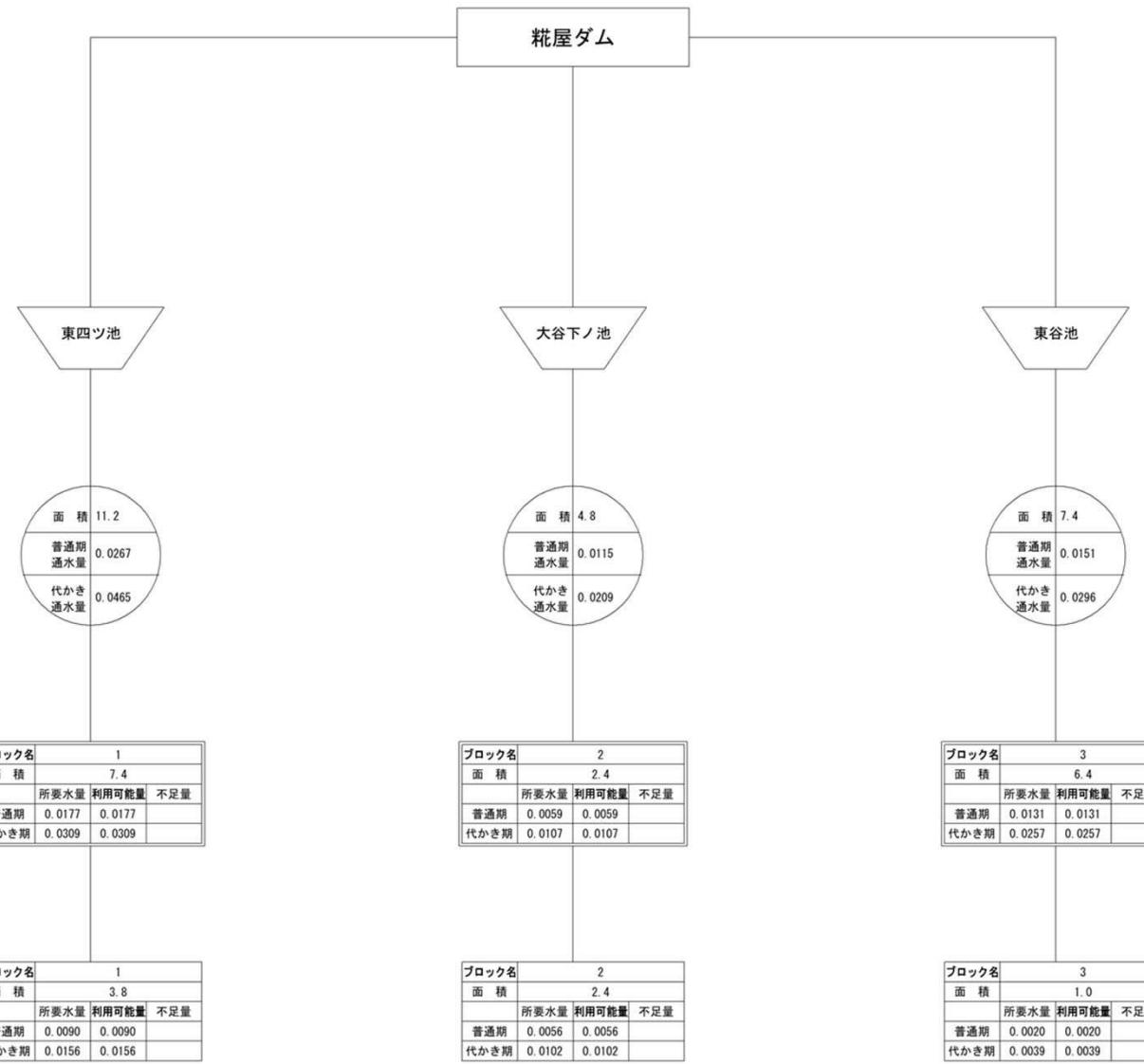
本地区は、ため池に用水源を求めている。地区内の水路はほとんど用排兼用水路で、一部は田越しかんがいを行っている所もある。

用水系統は依然として複雑な利水を行っている。

(1) 用水系統

現況用水系統図参照

現況用水系統模式図



(2) 用 水 施 設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事 業 名	項 目 施 設 名	か ん が い 面 積						計		水 利 権		慣 行 水 利 権		延べ取水量	備 考	
		500ha以上		500~100ha		100ha未満				ha		m ³ /s				
		箇 所	ha	箇 所	ha	箇 所	ha	箇 所	ha	箇 所	m ³ /s	箇 所	m ³ /s	m ³ /s		
農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)	貯水池					3	16.2	3	16.2	-	-	3	0.0673	-		
	井堰															
	自然取入口															
	揚水機															
	その他															
	計					3	16.2	3	16.2			3	0.0673			

(3) 用水に関する被害状況

該当なし

(4) ため池決壩等の場合の想定被害状況

該当なし

2. 排水状況

(1) 排水系統

現況排水系統模式図参照

現況排水系統模式図



(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	施設名	排水面積						計	排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考				
		500ha以上		500~100ha		100ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)	自然排水路					2	18.0	2	18.0	1.586	2.260				
	水門														
	排水機														
	水門及び排水機														
	排水路及び排水機														
	計					2	18.0	2	18.0						

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模(m)	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名	箇所数							
農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)	自然排水路	2	18.0	コンクリート水路	BF200~400				用排兼用
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
		計	2	18.0					

第4節 道路現況

1. 道路概況

現況道路配置図参照

現況道路配置図

縮尺 1/6,000



凡 例
県道
市道
地区境界

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 熱供給 水道業 (人)	運輸 通信業 (人)	卸売小売 業飲食業 (人)	金融 保険業 (人)	不動産業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
加西市	21,113	803	6	-	5	1,194	7,736	55	1,182	2,556	286	103	6,294	606	287	
比率(%)	100	3.80	0.03	-	0.02	5.66	36.64	0.26	5.60	12.11	1.35	0.49	29.81	2.87	1.36	

出典:平成27年「国勢調査加西市」による

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家 総戸 数 (戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)												1戸当たり平均農用地面積(ha)						耕地の分散状況		専兼業別農家数(戸)		備考	
		例外規定 の適用を 受ける もの	0.3	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	一戸 当たり	団地 当たり	専業	兼業		
			未満	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	ha 以上								面積(ha)	面積(ha)	第1種	第2種		
加西市	3,274	-	6	527	1,046	395	114	81	55	39			1,011	1.26	0.03	0.01	1.30	-	1.30			381	173	1,682	
比率(%)	100.0	-	0.18	16.10	31.95	12.07	3.48	2.47	1.68	1.19	0.00	-	30.88	96.92	2.31	0.77	/	-	100.0	/	/	17.04	7.74	75.22	

出典:2015年「農林業センサス」による

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具						主要家畜								備考								
	田植機		耕耘機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		プロイラー								
	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(羽)	戸数(戸)	数量(羽)	戸数(戸)							
加西市	1,608	1,568	2,270	2,004	1,610	1,551	705	9	-	10	-	1	325	3	-	-							
100戸当たり 数量(台、頭)	103		113		104		7,833						10,833		-								
利用戸数 割合(%)																							

出典:2015年「農業センサス」による

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名		加西市		計	平均	作付率(%)	備考
総耕地面積(ha)		3,660	<th>3,660</th> <td><th data-kind="ghost"></th><th data-kind="ghost"></th></td>	3,660	<th data-kind="ghost"></th> <th data-kind="ghost"></th>		
総本地面積(ha)							
区分	作物名	作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)		
田	表作 水稲	1,960	515	1,960	515	54	
	裏作 野菜類	-	-	-	-		
	その他	-	-	-	-		
	小計	1,960		1,960		54	
畑	麦類	232	127	232	127	6	
	豆類	84	92	84	92	2	
	小計	316		316			
樹園地	果樹		0	0	0		
	その他の		0	0	0		
	小計			0			
	計	2,276		2,276		62	
市町村別延べ作付率(%)		62		62			

出典:兵庫県農林水産省統計部「作物統計」(平成28~29年)による

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域指定等	備考	
	B	A		B	A		作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A			
変化の状況 (C年を100とする指標)	総農家数	92	79	耕地	99	95	水稲	90	103	乳用牛	80	72	田植機	84	67		A:平成27年(2015) B:平成22年(2010) C:平成17年(2005)	
	専業農家数	84	101	田	98	101	豆類	117	135	肉用牛	156	—	耕うん機	84	75			
	第一種兼業農家数	103	247	畑	111	101	野菜類	94	69	豚	—	—	コンバイン	78	66			
	第二種兼業農家数	88	67	樹園地	73	77				採卵鶏	533	93						
	農業従事者数	92	134															
変化の理由	総農家数は減少しているが、内訳をみると小規模農家の農業離れが進んで、大規模農家に集約されつつあるように見える。一方で、第二種兼業農家が高齢化し、農外収入が減少したことで統計上、第一種兼業農家に分類されるようになったことも考えられ、小規模農家の高齢化が進んでいるようである。						耕地の減少は、宅地・道路等に転用されたためと考えられる。田は横ばい、畑が減った分、樹園地が増えている。			水稻からの転作は、5年前よりも減少し、10年前と同じ程度になっている。野菜類、豆類は減少傾向が続いている。			乳用牛の飼育頭数はやや減少している。採卵鶏は5年前に大きく増えたあと激減している。畜産を取り巻く経済環境の変化の厳しさがうかがえる。			機械の共同利用や、大型化により、機械台数は減少傾向である。小規模農家の収入では、動力農機具を所有することに無理があるとも考えられる。		

出典:「世界農林業センサス」「農業センサス」

第6節 地域環境の概況

本地域が位置する加西市は兵庫県南部、播磨平野のほぼ中央に位置し、市域面積は150.22km²で、中国自動車道が通過し、大阪等の大都市へアクセスのよい場所である。気候は瀬戸内海式気候に属しており、晴れの日が多く1年を通して温暖なことが特徴である。瀬戸内海を囲む中国・四国の山地が夏冬の季節風をさえぎるため、1年を通して雨が少ない気候である。

本地区では、万願寺川流域に位置する平坦地名地形であることから、用水として流れる水路では至る所で堰揚げをして農地に取水していることから、維持管理に多くの時間を費やし、これを解消することが大きな課題である。

本地区的水田及び周辺水路には、ドジョウやトノサマガエル等の貴重な水生生物が生息しており、環境保全として重要な役割を果たしている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

近年、農業を取りまく情勢は極めて厳しいものがあり、農家の殆どが兼業の形で農業経営に当たっているが、働き手の高齢化による労働力不足が深刻化し、農業機械設備に

過剰な投資を行う不経済性に加え、耕作放棄田の増加に拍車がかかっている。

農業の生産性向上、効率的な安定的な経営の確立を得る為に当事業を実施し、区画形質の改善、用排水路、道路等の総合的な整備、点在耕地の集団化等を図り、近代的な高性能農業機械を利用することにより、生産性の高い農業を展開する。

更に、省力化によって生ずる余剰労働力を活用して、米作偏重農業からの脱却に努め、農地の利用増進と集落営農にも積極的に取組み、新しい農業構造を構築し、多様化する食糧需要に対応すべく経営体を整える。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名	農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)					備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	計 (ha)	
土地利用区分						
事業目的	13.3	1.0	-	-	14.3	
区画整理						
計	13.3	1.0	-	-	14.3	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

農業の競争力を強化するための方策として、温暖な気象条件と平坦な農地など有利な立地条件を生かしながら、農業の大区画化による大型機械化に取り組む農業経営を育成するために、次の事項を基本とした。

1) 生産基盤の整備

省力化のための大型機械化農業を進めるための農地・農業水利施設の整備や大型機械体系の導入による耕地利用率の向上により、生産性の高い農業を育成する。

2) 農地の流動化促進と担い手農家の育成

農地の流動化により、農事組合法人東高室営農組合への農地集積・集約化(95.3%)を行い、農業経営の規模拡大を図る。

3) 生産者組織の育成、強化

生産技術の向上と良品質安定生産、さらに計画的な出荷を進めるため生産者組織の育成、強化を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畠 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の 果樹園 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)	現況	15.2	1.0					16.2	0.5		1.3	18.0	
	計画	13.3	1.0					14.3	0.0		3.7	18.0	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目												2年目												備考
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
農山漁村地域整備交付金 (農業基盤整備促進事業)	現況	水稻	輪換田 永久畠等						□				×							□					×			○: 定植 △: は種 □: 移植 ×: 収穫
		酒米							□				×							□					×			
		加工用米							□				×							□					×			
		WCS							△				×							△					×			
		黒大豆							△				×							△					×			
		小麦												△												△		
		たまねぎ											○												○			
農山漁村地域整備交付金 (農業基盤整備促進事業)	計画	水稻	輪換田 永久畠等						□				×							□					×			
		酒米							□				×							□					×			
		加工用米							□				×							□					×			
		WCS							△				×							△					×			
		黒大豆							△				×							△					×			
		小麦											△												△			
		たまねぎ											○												○			

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名 <small>農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)</small>	項目 作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考		
		現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加			
<small>農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)</small>	水田	水稻	7.5	8.1	0.6	51	61	508	518	10	38.1	42.0	3.9	3.0	10.0	水管理改良	
		酒米	1.2	1.5	0.3	8	11	418	418		5.0	6.3	1.3	1.3		作付増	
		加工用米	0.1	0.8	0.7	1	6	480	480		0.5	3.8	3.3	3.3		作付増	
		WCS	0.1	1.5	1.4	1	11	1,300	1,300		1.3	19.5	18.2	18.2		作付増	
		黒大豆	0.1	1.1	1.0	1	8	74	74		0.1	0.8	0.7	0.7		作付増	
		裏作	小麦	0.1	4.2	4.1	1	32	129	129		0.1	5.4	5.3	5.3		作付増
		たまねぎ	0.1	1.0	0.9	1	8	5,279	5,279		5.3	52.8	47.5	47.5		作付増	
		普通畑	黒大豆	0.1	1.2	1.1	13	10	74	74		0.1	0.9	0.8	0.8		作付増
		春夏作															
		秋冬作															
計		9.3	19.4	10.1						50.5	131.5	81.0	80.1	10.0			

↑整地面積を分母として算出 ※経済効果の作付率(水張面積を分母とする)とは数値が異なる。

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	土地利用区分	項目	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考
					区分	現況	計画	増減	
<small>農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)</small>	輪換田及び畑	水稻		8.1	人 力	39.0	15.0	△ 24.0	
					機 械 力	26.0	8.0	△ 18.0	
		酒米		1.5	人 力	39.0	15.0	△ 24.0	
					機 械 力	26.0	8.0	△ 18.0	
		加工用米		0.8	人 力	39.0	15.0	△ 24.0	
					機 械 力	26.0	8.0	△ 18.0	
		WCS		1.5	人 力	20.0	15.0	△ 5.0	
					機 械 力	13.0	8.0	△ 5.0	
		黒大豆(水田)		1.1	人 力	75.0	28.0	△ 47.0	
					機 械 力	11.0	5.0	△ 6.0	
		黒大豆(畑)		1.2	人 力	75.0	28.0	△ 47.0	
					機 械 力	11.0	5.0	△ 6.0	
		たまねぎ		1.0	人 力	210.0	125.0	△ 85.0	
					機 械 力	51.0	13.0	△ 38.0	
		小麦		4.2	人 力	11.0	6.0	△ 5.0	
					機 械 力	9.0	6.0	△ 3.0	
計				19.4					

6. 級地別土地利用区分

該当なし

7. 土地配分計画

該当なし

第3節　用　水　計　画

1. 計　画　基　準　年

平成14年 (有効雨量 1/10、連続干天日数 1/10)

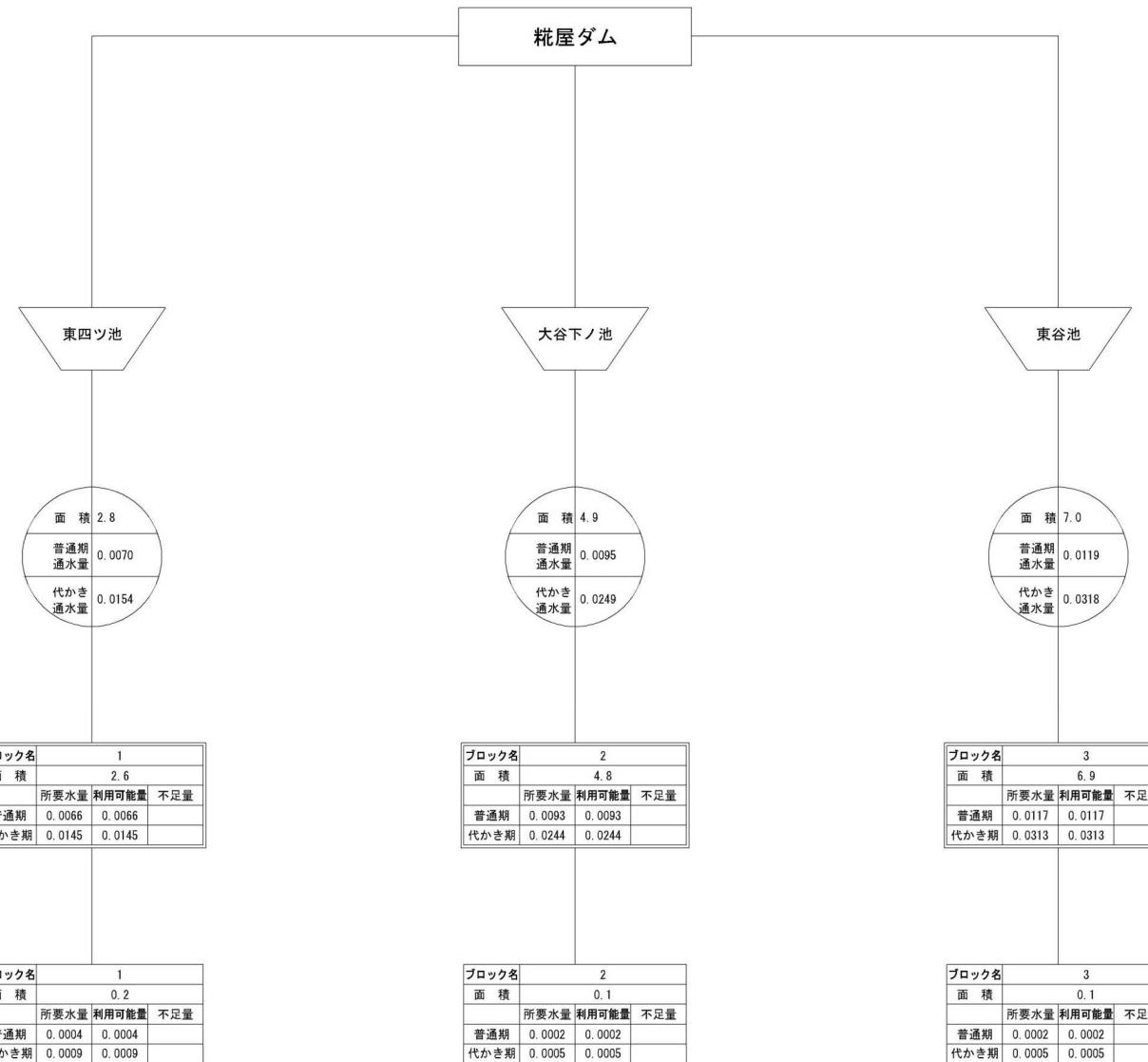
2. 計　画　か　ん　が　い　方　式

区　分	か　ん　が　い　式	代　か　き　期　間	か　ん　が　い　期　間	間　断　日　数	備　考
輪　換　田	たん水かんがい	6月15日～6月19日	6月15日～9月15日	—	パイプライン方式
輪　換　畑	うね間かんがい	—	6月15日～9月15日	5日	パイプライン方式

3. 計　画　用　水　系　統

計　画　用　水　系　統　図　参　照

計画用水系統模式図



4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)	水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			田畑輪換						消費水量 (m³/s)	損失率 (%)	粗用水量 平均 (m³/s)	粗用水量 最大 (m³/s)	備考	
			普通期 計画平均単位用水量 (mm/日)	代かき期 計画代かき単位用水量 (mm)	面積 (ha)	一日当たり計画平均かん水深 (mm)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	一日当たり計画平均かん水深 (mm)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	水田かんがい			畑地かんがい								
												普通期 計画平均単位用水量 (mm/日)	代かき期 計画代かき単位用水量 (mm)	面積 (ha)	一日当たり計画平均かん水深 (mm)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	普通期 計画平均単位用水量 (mm/日)	代かき期 計画代かき単位用水量 (mm)	面積 (ha)			
東四ツ池掛	農業用水	2.6							5.5	5			150	2.0	5.5	5	0.6	0.006	10%	0.007	0.007	ブロック1	
大谷下池掛	〃	4.8							5.5	5	0.1		150	3.6	5.5	5	1.1	0.008	10%	0.009	0.010	ブロック2	
東谷池掛	〃	6.9							5.5	5	0.9		150	4.4	5.5	5	1.6	0.011	10%	0.012	0.013	ブロック3	
	〃																						
	〃																						
	〃																						
	〃																						
	〃																						
	〃																						
	〃																						
計		14.3								1.0			10.0			3.3							

5. 水源計画

(1) 水利用計画

・有効雨量 ······ 有効雨量は、日雨量の5mm～80mmの80%とする。

(第10表-2)

項目 区分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足量		水源依存量		水工 源種	備考
					水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
a (千m ³)	b (千m ³)	c=a-b (千m ³)	d=c/(1-a) (千m ³)	e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)						損失率: α
事業名 農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)	244	32	212	241	241	241	0	0	-	-	-	10%	

(2) 用水対策

(7) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		かんがい面積 (ha)		純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考					
	事業名													
	直接	間接	農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)											
東四ツ池	0.09		6.0		36.0	36.0	複数回							
大谷下池	0.05		2.1		13.1	13.1	複数回							
東谷池	0.07		6.3		27.0	27.0	複数回							
							〃							

(8) 井堰及び自然取入口

該当なし

(9) 揚水機

該当なし

(エ) 用 水 路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)	最大通水量 (m³ / s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名				
	農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)				
3-1号用水		0.0467	0.3649	VU300、VP300、VU250	
3-2号用水	1.90	0.0361	0.1904	VU250	
3-3号用水	0.66	0.0124	0.3307	VU150、VU75	
東四ヶ池 計			0.886		
2-1号用水	0.24	0.0543	0.2410	DCIP300、VU300、VU250	
2-2号用水	1.55	0.0501	0.7009	VU250、VU200	
2-3号用水	0.57	0.0118	0.1524	VU150、VU75	
2-4号用水	1.24	0.0235	0.1646	VU200、VU150、VU100	
2-5号用水	1.18	0.0271	0.1755	VU200、VU150、VU75	
2-6号用水	0.03	0.0006	0.0256	VU75	
2-7号用水	0.01	0.0033	0.0538	VU75	
大谷下池 計			1.514		
1-1号用水		0.0609	0.4007	VU300	
1-2号用水		0.0591	0.0729	VU300	
1-3号用水		0.0530	0.1231	VU300	
1-4号用水	2.01	0.0497	0.1196	VU250、VU200	
1-5号用水	1.19	0.0239	0.1468	VU200、VU150、VU100	
1-6号用水	0.53	0.0110	0.0428	VU125	
1-7号用水	1.42	0.0290	0.1238	VU200、VU150、VU100	
1-8号用水	0.85	0.0132	0.2059	VU250、VU125、VU75	
1-9号用水	0.83	0.0137	0.2470	VP200、VU300	
東谷池 計			1.483		
合計	14.23		3.882		

項目 名称	かんがい面積 (ha)	最大通水量 (m³ / s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名				
	農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)				
			0. 2334	VU75	トンネルその他
			0. 1510	VU100	トンネルその他
			0. 0486	VU125	トンネルその他
			0. 6467	VU150	トンネルその他
			0. 4799	VU200	トンネルその他
			0. 1110	VP200	トンネルその他
			0. 9067	VU250	トンネルその他
			1. 1735	VU300	トンネルその他
			0. 0456	VP300	トンネルその他
			0. 0860	DCIP300	トンネルその他
合計			3. 882		

(オ) その他の水源施設

該当なし

(3) 水温水質

かんがい用水として利用するうえで支障はない。

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

日雨量	153 mm/日	(1/10年確率)
基幹排水	時間雨量強度	55 mm/hr
末端排水	時間雨量強度	55 mm hr

2. 計画排水方式

2-1. 自然排水

2-2. 排除時間

排除時間については、兵庫県土地改良技術基準及び県等打合せにより下記とする。
4時間雨量・4時間排除を基本とする。ただし、急激な流出が考えられる地区外流域(広範囲な山地流域)及び混住地内(家屋等隣接地)の計画排水量あるいは数十ha以上の支配面積をもつ幹支線排水路は、1時間雨量・1時間排除により算定する。(土地改良技術基準 P.91)

3. 計画排水系統

計画排水系統図参照

計画排水系統模式図



4. 計画排水量

(第11表-1)

排水 系統名	項目 事業名	受益面積(ha)		基 雨 量 (mm)	降雨による 直接単位流出量 (m³/s/km²)		基底流出量 (m³/s/km²)		全排水量(m³/s)		単位排水量 (m³/s/km²)		備考	
		流域面積 (km²)			山地	平地	山地	平地	山地	平地	自然排水	機械排水		
		農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)			山地	平地								
加古川 (幹線水路1)	3.0		0.04	153	2.63	2.04~5.83	-	-		0.11	-		2.75	
加古川 (幹線水路2)	15.0	0.40	0.29	153	2.63	2.04~5.83			1.01	0.80	-	2.53	2.76	
計	18.0	0.40	0.33	-	-	-	-	-	1.01	0.91	-	-		

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なし

(2) 排水機

該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)		計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名					名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)								
支排1号					0.0654	BF300				
支排2号	2.00	0.93			0.3007	BF250				
支排3号	1.00	0.87			0.1504	BF250				
支排4号		0.66			0.2032	BF250				
支排5号		1.83			0.3464	BF450				
支排6号	0.50	0.48			0.0459	3AP600×1200				
支排7号	0.50	0.96			0.2415	3AP600×1200				
支排8号	4.00	1.56			0.1645	3AP600×1200				
支排9号					0.0636	3AP600×1000				
支排10号	10.00				0.0542	3AP500×800				
支排11号		1.03			0.0774	BF250				
支排12号		0.83			0.2252	3AP500×600				
支排13号		1.63			0.3404	BF450				
支排14号		0.75			0.1228	BF250				
支排15号					0.1967	BF250				
支排16号		1.16			0.2890	BF450				
支排17号		0.64			0.1535	BF350				
支排18号		0.21			0.1135	BF300				
支排19号					0.0562	BF250				
支排20号					0.0947	BF250、BF200				
1号小排水		0.68			0.0753	BF200				
2号小排水					0.0782	BF200				
3号小排水					0.0448	BF200				
計				3.504						

(第11表-4

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)		計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考			
		事業名					計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)					
		農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)											
項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)	計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	排水本川	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)		備考			
				0.2518	BF200								
				1.1486	BF250								
				0.1789	BF300								
				0.1535	BF350								
				0.9758	BF450								
				0.4519	3AP600×1200								
				0.0636	3AP600×1000								
				0.0542	3AP500×800								
				0.2252	3AP500×600								
計				3.504									

(4) そ の 他

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名	項目	幅(有効) (m)	×	延長 (km)	構造	既設道路との関係	備考
1号支線		5.0(4.0)	×	0.1342	敷砂利舗装		
2号支線		5.0(4.0)	×	0.0936	敷砂利舗装		
3号支線		5.0(4.0)	×	0.1090	敷砂利舗装		
4号支線		5.0(4.0)	×	0.1870	敷砂利舗装		
6号支線		5.0(4.0)	×	0.1410	敷砂利舗装		
7号支線		5.0(4.0)	×	0.1345	敷砂利舗装		
8号支線		5.0(4.0)	×	0.4592	敷砂利舗装		
小計	延長			1.259			

路線名	項目	幅(有効) (m)	×	延長 (km)	構造	既設道路との関係	備考
支線道路		5.0(4.0)	×	1.2585			
合計	延長			1.259			

(2) 索道

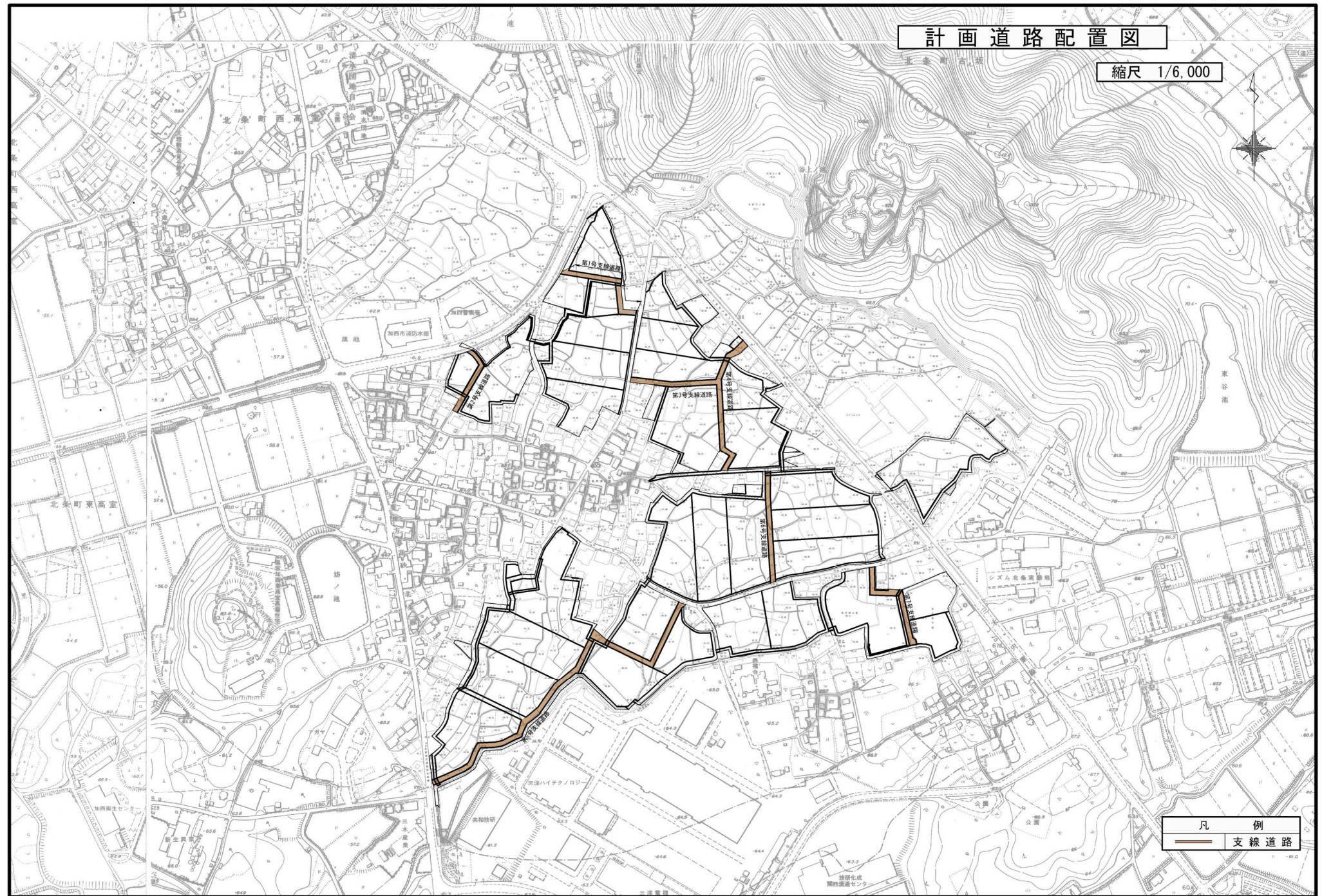
該当なし

2. 路線配置図

計画道路配置図参照

計画道路配置図

縮尺 1/6,000



凡例
—— 支線道路

第 6 節 農用地造成計画

該当なし

第 7 節 洪水調節計画

該当なし

第 8 節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
60 × 50	0.30	12.5	87		田:30a以上
		0.8	6		田:30a未満
60 × 50		1	7		畑
計		14.3			

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考
6.3	地力保全	15	9,450	強グライ土壤 強粘土斑鉄型 D31
3.7	地力保全	15	5,550	グライ土壤 強粘土構造型 E40
3.3	地力保全	15	4,950	灰色土壤 粘土構造型 F50
1.0	地力保全			畑
(計)	14.3		19,950	

(3) 末端導水路配置図

該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

項目 区分	受益面積(ha)		土壤統(区)分 計	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (ℓ/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方式	備考
	事業名							
	農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)	計						
本暗渠	1.0	1.0	強グライ土壤、グライ土壤、灰色土壤	50	5.79	0.5	自然排水	
	13.3	13.3	強グライ土壤、グライ土壤、灰色土壤	50	5.79	0.5	自然排水	
計	14.3	14.3						

(2) 心土破碎

該当なし

3. 客土

該当なし

4. 農地保全

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

該当なし

2. 頭首工

該当なし

3. 揚水機

該当なし

4. 用 水 路

(第17表-4)

項 目 水路名	かんがい面積 (ha)	通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名		開さよ	トンネルその他	計				
	農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)								
3-1号用水		0.0467		0.3649	0.3649	VU300、VP300、VU250			
3-2号用水	1.90	0.0361		0.1904	0.1904	VU250			
3-3号用水	0.66	0.0124		0.3307	0.3307	VU150、VU75			
東四ツ池 計				0.8860	0.8860				
2-1号用水	0.24	0.0543		0.2410	0.2410	DCIP300、VU300、VU250			
2-2号用水	1.55	0.0501		0.7009	0.7009	VU250、VU200			
2-3号用水	0.57	0.0118		0.1524	0.1524	VU150、VU75			
2-4号用水	1.24	0.0235		0.1646	0.1646	VU200、VU150、VU100			
2-5号用水	1.18	0.0271		0.1755	0.1755	VU200、VU150、VU75			
2-6号用水	0.03	0.0006		0.0256	0.0256	VU75			
2-7号用水	0.01	0.0033		0.0538	0.0538	VU75			
大谷下池 計				1.5138	1.5138				
1-1号用水		0.0609		0.4007	0.4007	VU300			
1-2号用水		0.0591		0.0729	0.0729	VU300			
1-3号用水		0.0530		0.1231	0.1231	VU300			
1-4号用水	2.01	0.0497		0.1196	0.1196	VU250、VU200			
1-5号用水	1.19	0.0239		0.1468	0.1468	VU200、VU150、VU100			
1-6号用水	0.53	0.0110		0.0428	0.0428	VU125			
1-7号用水	1.42	0.0290		0.1238	0.1238	VU200、VU150、VU100			
1-8号用水	0.85	0.0132		0.2059	0.2059	VU250、VU125、VU75			
1-9号用水	0.83	0.0137		0.2470	0.2470	VP200、VU300			
東谷池 計				1.4826	1.4826				
合計	14.23	—		3.882	3.882				

項目 水路名	かんがい面積 (ha)	通水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名		開きよ	トンネルその他	計				
	農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)								
VU75				0.2334		VU75			
VU100				0.1510		VU100			
VU125				0.0486		VU125			
VU150				0.6467		VU150			
VU200				0.4799		VU200			
VP200				0.1110		VP200			
VU250				0.9067		VU250			
VU300				1.1735		VU300			
VP300				0.0456		VP300			
DCIP300				0.0860		DCIP300			
合計	—	—	3.882	3.882					

5. その他のかんがい施設

該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

該当なし

2. 排水機

該当なし

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)	排水量 (m³/s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名		開きよ	トンネルその他	計				
	農山漁村地域整備交付金(農業基盤整備促進事業)								
支排1号			0.0654		0.0654	BF300			
支排2号	0.93		0.3007		0.3007	BF250			
支排3号	0.87		0.1504		0.1504	BF250			
支排4号	0.66		0.2032		0.2032	BF250			
支排5号	1.83		0.3464		0.3464	BF450			
支排6号	0.48		0.0459		0.0459	3AP600×1200			
支排7号	0.96		0.2415		0.2415	3AP600×1200			
支排8号	1.56		0.1645		0.1645	3AP600×1200			
支排9号			0.0636		0.0636	3AP600×1000			
支排10号			0.0542		0.0542	3AP500×800			
支排11号	1.03		0.0774		0.0774	BF250			
支排12号	0.83		0.2252		0.2252	3AP500×600			
支排13号	1.63		0.3404		0.3404	BF450			
支排14号	0.75		0.1228		0.1228	BF250			
支排15号			0.1967		0.1967	BF250			
支排16号	1.16		0.2890		0.2890	BF450			
支排17号	0.64		0.1535		0.1535	BF350			
支排18号	0.21		0.1135		0.1135	BF300			
支排19号			0.0562		0.0562	BF250			
支排20号			0.0947		0.0947	BF250、BF200			
1号小排水	0.68		0.0753		0.0753	BF200			
2号小排水			0.0782		0.0782	BF200			
3号小排水			0.0448		0.0448	BF200			
計	14.2		3.504		3.504				

項目 水路名	受益面積 (ha)	排水量 (m³/s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
			開き上	トンネルその他	計				
					0.2518	BF200			
					1.1486	BF250			
					0.1789	BF300			
					0.1535	BF350			
					0.9758	BF450			
					0.4519	3AP600×1200			
					0.0636	3AP600×1000			
					0.0542	3AP500×800			
					0.2252	3AP500×600			
計					3.504				

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 路線名	路 線 名	幅(有効)(m) × 延長(km)	構 造	付 帯 構 造 物			最急 勾配(%)	同左の 延長(m)	最小曲線 半径(m)	備 考
				名 称	構 造	数 量(箇所)				
支線道路	1号支線, 2号支線, 3号支線, 4号支線, 6号支線, 7号支線, 8号支線	5.0 (4.0) × 1.259	敷砂利舗装	県市道取付	舗装工	3	8	—	—	
							—	—	—	
							—	—	—	
							—	—	—	
計		1.259								

(2) 道路主要構造物

該当なし

2. 索道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調節施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積(ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量(m³)	面積(ha)	土量(m³)	
東高室地区	14.3	100×50	50a		14.3	21,450

(2) 末端用水路等

該当なし

(3) 末端排水路等

該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面積		集水渠				排水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考	
	事業名 農山漁村地域整備交付 金(農業基盤整備促進 事業)	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
本暗渠	1.0	1.0	1/500	塩ビ管	φ100	200	1/500	ポリエチレン有孔管	φ50	0.5～0.7	10	800	排水路	BF	-	
	13.3	13.3	1/500	塩ビ管	φ100	100	1/500	ポリエチレン有孔管	φ65	0.5～0.7	10	900	排水路	BF	-	
計		14.3														

(2) 心土破碎

該当なし

3. 客 土

該当なし

4. 除 磯

該当なし

5. 農 地 保 全

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 附 帯 工 事 計 画

該当なし

第7章 工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期

1. 工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期

着手 令和 2 年 10 月

完了 令和 8 年 3 月

2. 工 程 表

工程		年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
区画整理	実施設計		—					
	整地工		—	—	—	—	—	—
	道路工		—	—	—	—	—	—
	用水路工		—	—	—	—	—	—
	排水路工		—	—	—	—	—	—

第8章 環境との調和への配慮

1. 基本方針

加西市においては、特に自然環境への配慮を重視することとし、その自然が残る河川やため池、水田の保全や活用を住民との協働によってつくりあげるとおもに、動植物の生息しやすい環境を創造する。

当地区は環境配慮区域に該当することから、周辺の環境に配慮しつつ、生産性の向上を図るべき区域であり、動植物の生息環境を的確に把握するため自然環境調査を推進し、必要に応じて整備施設の代替え地の確保や動植物の捕獲・移動等の生態系への配慮を行うものとする。

2. 当該地域の生態系の現況

【植物】 112種、【貝類】 スクミリンゴガイ、ヒメタニシ、シジミ類、【甲殻類】 ミナミヌマエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、

【昆虫類】 シオカラトンボ、アメンボ、コミズムシ、コオイムシ、ハイイロゲンゴロウ、コシマゲンゴロウ、コガムシ、ヒメガムシ、

【魚類】 ドジョウ、トヨシノボリ、【両生類】 ニホンアマガエル、トノサマガエル、ヌマガエル

◎…重要種 ■…特定外来生物

3. 当該地区における環境配慮の方法

- ドジョウなどの貴重な魚類を保全するため、水量の少ない時にも生息可能となる枠を設置する。
- トノサマガエルなどの貴重な両生類を保全するため、水辺と陸上の段差を軽減するため、水路に斜路を設置する。
- 植物の重要種については、施工前に地区内の同等の環境に移植を行う。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成するまでの基本的な考え方

本地区の農業は、殆どの農地が不整形地であり、1筆当たりの面積も狭小である。

又、農道及び水路は未整備であるため大型機械の導入及び水路の維持管理も困難を極めている。

こうした中、営農体系と基盤整備の遅れを改善するため、法人化した営農組合に農地中間管理制度を活用した農地利用集積を図り、農地と水を最大限に活用した農業生産力の強化、防災、減災、農業生産性の増大及び農業構造の改善に資するための換地計画を樹立する。

第2節 換地区の設定

1. 換地区的名称、所在、面積

(第25表-1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)
全 区	兵庫県加西市北条町東高室	18.0

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地区計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準
全 区	(1) 換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業施行同意の日の登記簿地積とする。 但し、土地改良事業計画決定の日から6ヶ月以内に土地家屋調査士または測量士が隣接所有者の立会いを得て実測した地積で、評価・換地委員会が認めた時はその地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位:ha) (第25表-3)

用 途 換地区名 前 後	非農用地区域外に換地する土地									非農用地区域に換地する土地						機能交換に係る土地			一般国公有地	総合計							
	田	畑	山林	・ 原野	その 他	通常事業施工地域に含める土地(令第1条の9()書き)			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地		創設農用地	合計	特定用途用地		異種目換地	創設非農用地				合計	国	県	市町村他	合計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他			宅地	その他		農業經營合理化施設用地	生活上・經營上必要な施設用地	公用・公共用施設用地	宅地等							
全区	従前の土地	15.2	1.0	0.0	0.5	0.1		0.1	16.8					16.8		0.3	0.3	0.4				0.7		0.0	0.5	0.5	18.0
	換 地	13.3	1.0			0.1		0.1	14.4	2.4		2.4		16.8		0.3	0.3	0.4				0.7		0.0	0.5	0.5	18.0

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区 分 換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個 人 别 换 地 の 方 法					
		位 置 の 選 択 方 法		1 戸 当 たり 目 標 団 地 数			区 画 畠 畦 の 取 り 扱 い
全 区	地目別集団化 従前地の用途が畑・山林・原野・雑種地等から造成される畑は、事業計画に定められた畑区域内で集団化する。 利用権集積促進区域の集団化 育成すべき経営体（東高室営農法人）に利用集積を積極的に図る区域においては、耕作する農用地が連担するよう出来る限り集団化する。	選定順位「従前団地あたり面積の多順」に従い、各農家の従前最大団地の指す区画に土地が最も密集した位置を考慮して定める 換地選定後の面的集積の進め方 利用集積促進区域と区域外の調整を権利者の同意を得て集積を図る。	1戸当たりの目標団地数はおおむね2団地を目指とする。 集団化率 $\frac{P-Q}{P-N} \times 100 = \frac{110-72}{110-61} \times 100 = 77.6\%$	畠畔は固定畠畔とする。また、分割田は利用集積のため原則として畠畔は設けず、境界杭のみとする。			

4.非農用地換地の方法

(第25表-5)

区分 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m ²)	換地の手法	換地取得予定者	その他	
全区	非-1-1 資材倉庫	759-1, 758, 738, 757, 756-1	1,447	異種目換地	従前所有者		
	非-1-2 資材倉庫	759-1, 758, 738, 757, 756-1	491	異種目換地	従前所有者		
	非-2 宅地の一部	583-1	183	異種目換地	従前所有者		
	非-3 農業経営合理化施設	293-1	2,609	特定用途用地	従前所有者		
	非-4 駐車場	31, 827, 828-1	393	特定用途用地	従前所有者		
	非-5 進入路	532-1	75	異種目換地	従前所有者		
	非-6 分家住宅	765-1, 766-1, 764-1	388	異種目換地	従前所有者		
	非-7 宅地の一部	549, 496-3, 494-3	234	特定用途用地	従前所有者		
	非-8 駐車場	463,467	108	異種目換地	従前所有者		
	非-9 資材倉庫	682-1, 685	990	異種目換地	従前所有者		
	非-10 宅地の一部	807, 807-1	8.39	異種目換地	従前所有者		
	非-11 宅地の一部	499, 525-2	241	異種目換地	従前所有者		
合計	内訳	異種目換地	資材倉庫	2,928.00	m ²		
			進入路	75.00	m ²		
			分家住宅	388.00	m ²		
			駐車場	108.00	m ²		
			宅地の一部	432.39	m ²		
		小計		3,931.39	m ²		
		特定用途用地	農業経営合理化施設	2,609.00	m ²		
			駐車場	393.00	m ²		
			宅地の一部	234.00	m ²		
	小計			3,236.00	m ²		
	計			7,167.39	m ²		

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 土地の評価は、条件差差積清算方式により行う。

①従前地の評価は、条件差区域を除き標準地として一律価格とする。

②換地の評価価格は、従前地の標準価格を換地交付率で除して算定する。

③工事後、新たに生じた条件差のある区域については、現地踏査のうえ評価点数を決定し、評価点数に標準地の1m²1点あたり単価を乗じて算定する。

2. 清算の方法 条件差差積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定	換地計画の決定	換地処分	備考
	予定年度	予定年度	予定年度	
全区	令和3年～6年度	令和7年度	令和7年度	

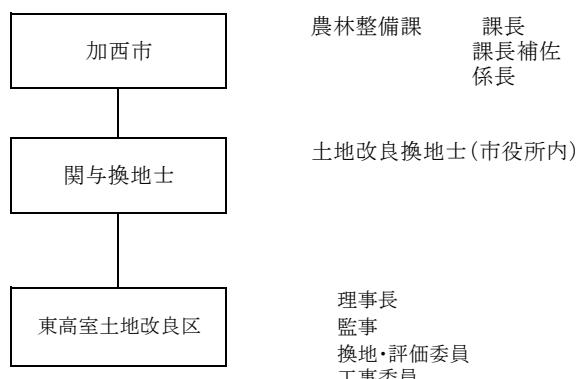
第6節 換地処分の時期に関する特則

換地区的全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第96条の4第1項において準用する同法第54条第2項ただし書きの規定により換地処分を行うものとする。

換地事務処理体制

換 地 区	選 定 事 務			処 分 事 務		
	直営・委託の区分及び項目	担当者(委託者)	着手の時期	直営・委託の区分及び項目	担当者(委託者)	完了の時期
全 区	委託 従前地・従前図再調査 換地設計基準書・評価基準書・換地計画原案作成 一時利用地の指定 分筆登記・相続等代位登記・工事後の評価	換地業者 委託 (株)朝日コンサル本社 加西市 農林整備課 東高室土地改良区	工事着手年度 令和6年度(秋) 選定事務着手年度(工事着手前) 令和3年度	委託 字界変更・換地計画書作成・権利者会議 換地計画認可申請・処分・処分登記	換地業者 委託 (株)朝日コンサル本社 加西市 農林整備課 東高室土地改良区	工事完了(予定) 令和6年度 換地計画樹立 令和7年度 換地処分 令和7年度

換地事務処理体制(構造図)及び処理方法



(処理方針)

東高室土地改良区事務局、組合員である換地・評価委員、工事委員及び加西市との連携を密にして事業推進に努める。

事務関係においては、町職員が事務処理にあたるほか、改良区内に換地・評価委員を設置し、関係組合員の中から代表で委員を選出し、事業の推進並びに土地改良区運営の補助に当たる。

また、換地事務に対する取組については上記機構図のとおりであり、関与換地土の指導を受けながら、三位一体となった換地事務処理体制の確立に万全を期する計画である。

第 10 章 事 業 費 の 総 額 及 び 内 訳

総額 628,114,000 円
 (単位:千円) (第26表)

区分	事業費
工事費	468,256
区画整理	468,256
区画整理工	444,436
整地工	80,388
道路工	47,395
用水路工	140,400
排水路工	176,253
暗渠排水	23,820
用地補償費	8,334
測量試験費 (埋蔵文化財調査費含む)	109,605
換地費	41,919
事業費	628,114
事務費	-
総事業費	628,114

第 11 章 効用

区画整理

(第27表)

事業名	項目 区分	年総効果(便益)額 (千円)	年增加農業所得額 (千円)		現況年総農業所得額	備考
			うち機能向上分			
農山漁村地域整備交付金 (農業基盤整備促進事業)	食料の安定供給の確保に関する効果	44,425	46,490	46,490		
	作物生産効果	1,558	3,623	3,623		
	営農経費節減効果	43,679	43,679	43,679		
	維持管理費節減効果	△ 812	△ 812	△ 812		
	農業の持続的発展に関する効果	15				
	耕作放棄地防止効果	15				
	その他効果	2,244				
	国産農産物安定供給効果	2,244				
	計	46,684	46,490	46,490	2,470	

総費用（現在価値化） 711,453
 総便益額（現在価値化） 1,014,837
 総費用総便益比 1.42

第 12 章 関連する事業

該当なし

第 13 章 現況・計画図面

1. 現況平面図
2. 計画平面図及び土地利用計画図
3. 主要構造図